

# ヘルプマーク理解を

浜松いわた信金 高校生らに講座

浜松いわた信用金庫は二十六日、外見では分からない障害や持病に配慮を求め「ヘルプマーク」に関する講座を、浜松市西区のオ



ヘルプマークの周知に向けて学生や社会人向けに開かれた講座＝浜松市西区のオイスカ浜松国際高で（浜松いわた信用金庫提供）

イスカ浜松国際高校で開いた。学生や社会人の約八十人が、マークの意味や担当者とのコミュニケーションについて理解を深めた。

同信金は営業店での接客の心構えを学ぶため、新入職員向けにヘルプマーク研修を既に実施。県のヘルプマーク推進事業を受託するNPO法人オールしずおかベストコミュニティ（静岡市葵区）が周知拡大の機会を求めており、出前講座の場を初めて設けた。

職員らはヘルプマークを掲げている人が遠慮しないように、「何かお手伝いすることはありますか」と、さりげなく声を掛けるコツを紹介した。講座には同高の一年生や、LPガス販売のエネシン（中区）の社員らが参加した。

（久下悠一郎）